



Renaissance ルネッサンス

くるさき

No.47
2020.1

副都心黒崎開発推進会議

発行/副都心黒崎開発推進会議 広報委員会
事務局/北九州市八幡西区黒崎1丁目1番1号 クロサキビル5F TEL・FAX093-642-1001

かのえ ね 『庚子』 変わらぬ想い つなぐ未来へ

☆庚子(かのえ-ね)→2020年の干支。
干支は10種類の十干(じゅうかん)と、12種類の十二支の組み合わせからなる。「庚子」の意味は、新たな芽吹きと繁栄の始まり、新しいことを始めると上手くいく、大吉であると推し示している。

女性目線で100点満点 『ときめき、のまち・黒崎へ』

副都心黒崎開発推進会議 会長 利島 康司



あけましておめでとうございます。令和最初の新年を迎え、皆様のご多幸と黒崎のさらなる発展を心より願っています。

私は、ここ黒崎が北九州の新たな『ときめき、のまち』となる予感で胸が高鳴っています。昨年はJR黒崎駅に新しい商業エリア「えきマチ1丁目黒崎」が完成しました。これは黒崎の活性化を目指し、2012年に北九州市、鞍安川電機、JR九州が締結した「黒崎副都心地区活性化連携協定」に基づいて誕生しました。安川電機のロボット村などと併せて、その集大成を見たことになり、今年はさらなる飛躍への環境が着々と整う中での新しい幕開けとなりました。

昨年はこのほか、おなじみの乾杯イベント「黒崎96(クロ)の日」も大変盛り上がる

など、黒崎のまちを面白くしようという意欲的な取り組みが確実に広がっていることをうれしく思っています。

今年は黒崎の魅力を一歩とパワーアップさせる年です。私はそのために、黒崎を「女性目線で100点満点の『ときめき、のまち』」にすることを提唱します。具体的には①安全で光あふれるまち②毎日おしゃべりをして出かけたいまち③安くて、おいしいものが食べられるまち——を目指したいと思います。

黒崎は、そうしたまちになる可能性を十分に秘めています。これが実現するかどうかは、私たち一人ひとりの「黒崎愛」にかかっています。「黒崎に行けば、何か面白いことがある」。今年も一人でも多くの人たちにそう感じてもらえるよう、力強く前へ進もうではありませんか。



「高いポテンシャルを活かし、 さらに魅力的なまちへ」

北九州市長 北橋 健治



新年あけましておめでとうございます。副都心黒崎開発推進会議の皆様には、長年にわたり黒崎のまちづくりにご尽力いただき、誠にありがとうございます。

さて、平成の時代、黒崎のまちは、商業を取り巻く環境の変化など厳しい局面を迎えましたが、その後、ひびしんホールや八幡西図書館の整備、コムシティの再生による八幡西区役所やびとみらいプレイス等の整備、マンションやスーパーの立地など、新しいまちづくりが進みました。現在では、JR黒崎駅南口の商店街や北口の企業群を含め、概ね1km圏内に様々な機能の集積が図られています。また、交通結節点であることから、地区内外の様々な人々が毎日行き交っています。

このように、黒崎は、実に多様な都市機能がコンパクトに集積し、多くの人々が集うにぎわいのまちとして、非常に高いポテンシャルを有しています。地区の人口が

増加していることは、まちが魅力的であることの証ではないでしょうか。

推進会議のメンバーも、地域の住民や企業で働く方、行政・警察関係者、官司まで、多様性に富んでいます。そして、各人が有機的に連携して実行委員会を組織し、「黒崎96の日」をはじめとした様々なイベントに取り組んでいただいております。

本市は、OECDから「SDGs(持続可能な開発目標)の推進に向けた世界のモデル都市」に、日本政府からは「SDGs未来都市」に選ばれるなど、SDGsの取組を推進しています。17のゴールの中には「住み続けられるまちづくりを」が掲げられていますが、黒崎における皆様の活動は、まさにこの目標に大きく寄与するものです。

新しい令和の時代においても、黒崎のまちが、その高いポテンシャルを活かし、さらに魅力的なまちへと成長できればと思います。推進会議の皆様には、引き続き黒崎のまちづくりにお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



「多様性」と「柔軟性」で黒崎の 街が育む地域人材「志民」の姿

一般財団法人日本経済研究所常務理事
地域未来研究センター長 大西 達也



人口減少、高齢化に加えて、度重なる行政改革や企業の統合、合理化など、地域を取り巻く環境が変化するなかで、全国各地で地域を支えてきた地方自治体、地元企業に加えて、住民にとって身近な存在であった自治会や商店街など、既存の組織や枠組みの弱体化が深刻な問題となっています。

日本有数の企業城下町である黒崎の街についても、私が初めて訪れた2000年代以降、JR黒崎駅前再開発プロジェクト「コムシティ」の破綻に加えて、大型商業店舗の相次ぐ閉鎖や商店街のシャッター通り化に象徴されるように、「まちなか」が往時の賑わいを喪失するなど、停滞感が否めない状況となっています。

このようななかで、地元北九州市立大学の城戸安史先生からご縁をいただき、

2012年以降は年に数回ペースで黒崎を訪問し、副都心黒崎開発推進会議をはじめ地域関係者の皆様とともに、将来のまちづくりのリーダーを養成する場である「地域づくりマネージャー養成塾(養成塾)」で一緒に学び、交流させていただいています。

黒崎における人材育成の特徴を挙げるならば、「多様性」と「柔軟性」の2つが指摘できるのではないのでしょうか。多様性は、文字通り「多様な主体」がまちづくりに参画していることです。住民をはじめ、企業人も商店街の店主から大手進出企業の役員まで、さらには個人の資格で参加する公務員(含む警察官)や地元の杜寺・神社など、街で活躍する年齢や職業も異なる人材が顔を揃えています。

もう一つの柔軟性についても、「黒崎の街をよくしたい、元気にしたい」といった単純明快な目標を共有しつつ、養成塾での「学びの場」と「大人の部活・タウンシップスクール」のような「実践の場」を組み合わせ、他地域では例を見ない独自の仕組みが生まれています。既存組織にとらわれない「ゆるやかで自由なつながり」は、「まちなか」を舞台に学びと実践を一貫して繰り返す過程で、今後も域内外の人材を巻き込みながら、黒崎の街の将来を思う人材＝「志民」を育てていくことを心より期待しています。

9月6日はみんなの記念日 タウンシップデー！

黒崎96の日実行委員会 実行委員長 池本 綾女



地域の志民が自らの力と志金により育んできた黒崎96の日。4年目を迎えた令和元年は金曜日と重なり商店街を埋め尽くす2400名もの志民の皆さま方と共に盛大に乾杯することができました。企業の皆さま方はもちろん、地域の方々の参加も半数を占めるほどの過去最高の参加者となりました。

企業の皆さま方には協賛金を出して終了ではなく、志金として知恵も、人も出して一緒に黒崎のまちづくりに参画していただきたい！そんな欲張りなお願いができるのも副都心会員の皆さま方とともに深めてきたまちづくりの絆があってこそと、そのご理解ご協力で心より感謝申し上げます。

黒崎96の日は2015年に利島会長が提唱された「変化の見える街へ」、そして「タウンシップ宣言」の実践、さらにこの年に発足した「黒崎地区繁華街創生プロジェクト」の3つが大きなきっかけとなり、個々の点を線で結び、円（緑）となる地域活性化事業として再生、発足いたしました。

対外的にも地域住民、商店、企業、行政等々が広域で連携した志民の取り組みで

ありながら、それぞれが上手くバランスを取り、協働し、持続可能なまちづくりを模索していると、高く評価いただいております。

それは当会が掲げる「タウンシップ宣言」が根底にあり、その成果が体現してきているのだと感じております。

今年の9月6日は初の日曜日を迎えます。あなたにとって「住む人、働く人みんなの記念日」とはどんな日でしょうか？

誰かがではなく、一人一人が今自分のできることを考え、少しでも何かを行動に移していく日。その個々の小さな積み重ねがいつの日か想定外の力を秘めた地域の力となる日＝「タウンシップデー」として成熟し、黒崎発のまちづくりの文化として、これからも皆さま方と共に力を合わせ、希望ある未来を切り開き、地方のシビックプライドの醸成へと一歩一歩前進できることを切望いたします。

※「タウンシップ (Town+Friendship)」とは黒崎のまちづくりの現場より生まれてきた、まちづくりの概念であり、「まちづくりを通して育む友情」として自分の住むまちをよりよいまちへ、という想いを持った志民が力と想いを合わせ、共に行動に移していくことを一言で表現した言葉です。



地域づくりマネージャー養成塾

黒崎タウンシップ推進委員会 委員長 福山 岳彦



副都心黒崎開発推進会議では、8年目となる地域づくりマネージャー養成塾を、さまざまな講師の皆さんをお呼びして開講しています。

この塾の目的は、以下の3つです。

1. 将来のまちづくりを担うマネージャー人材の育成をする。
2. 「新・黒崎まちづくり戦略～黒崎タウンシップ宣言」を検証、地域づくりの方向性を提案し、タウンシップ宣言をバージョンアップする。その中で地域のブランディングを考える。
3. 今後の地域づくりの方向を考え、新たなタウンシップ宣言に盛り込む。

北九州市立大学大学院マネジメント研究科 (MBA) の城戸宏史教授の監修・ご指導で、毎回、楽しくも実りある講義を

体験しています。

「新・黒崎まちづくり戦略～黒崎タウンシップ宣言」は、2015年7月に、この養成塾を通して、黒崎地区に関わる人々が主体的に「まちづくり」の戦略を創ったものです。それから数年経ち状況も変化する中で、これを今の時代に合ったものに削り変えていこうと思っています。その際に意識するのは、「黒崎のブランディング」という事です。らしさ、という事にとどまらず、「選ばれる必然」を作るための活動が必要だと考えています。

まちづくりに興味のある方、まちを何とかしたいと思っている方、参加をお待ちしています！



インフォメーション

☆委員会活動報告☆



○黒崎タウンシップ推進委員会 委員長：福山 岳彦

今年度下記のような活動を行っています。

1. 地域づくりマネージャー養成塾の企画・運営。11月から3月まで行われる養成塾のお世話をさせていただきます。楽しく実りある塾にしたいと思っています。
2. 「新・黒崎まちづくり戦略～タウンシップ宣言」を時代に合った形で作り替える。
3. 黒崎お祝いカレンダーの企画・制作

○組織活性化委員会 委員長：池本 綾女

定例の幹事会、役員会、総会の準備、新春の集いなどの企画運営に加え、タウンシップ宣言の実践として、今年度は4月に普定寺、10月に筑豊電気鉄道にて地域に根ざした幹事交流会を企画実施。また4回目を迎える黒崎96の日では各機関、諸団体と連携しながら実行委員会を牽引し、乾杯大会を主催いたしました。

○黒崎地区商業連携推進委員会 委員長：田中 大士

黒崎地区の中で、魅力の1つである「商業」をテーマに黒崎の街の街歩きや新春の会での深谷浩介さんによる講演会、南北自由通路の名前募集などをきっかけに、「より黒崎を知り」「黒崎の魅力づくり」をテーマに活動しています。参加したいという方は気軽にご連絡ください。

○広報委員会 委員長：岡林 千夫

副都心黒崎開発推進会議の活動を広報誌やホームページで発信することで、黒崎の活性化のお役に立つべく活動しています。また、2022年の副都心黒崎開発推進会議の設立30周年記念誌を発行する準備を進めています。今後さらに活動を深化させていきますので、皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

組織活性化交流会 「筑鉄ジャック」を開催して

八幡熊手郵便局 下澤 政宏



令和元年10月8日(火)に副都心黒崎開発推進会議の幹事会メンバーを対象とした初めての企画、「組織活性化交流会」として「筑鉄ジャック」を開催しました。

この企画は、平成30年度からスタートした当会議の委員会活動のうち、池本幹事長を委員長とする「組織活性化委員会」を中心に、10月の委員会活動推進月に合わせて幹事会を兼ねての開催であり、これまで私自身、組織活性化委員会に所属するものの、幽霊委員?になっていたところに、池本委員長から今回の企画の幹事にお声をかけていただきました。

今回の企画は、会員の交流・活性化を図ることと共に、黒崎の魅力でもある「交通の結節点」の中で重要な役割を果たしながら、近年の少子化による通学利用者の減や自然災害(大雨、台風)による影響をうける筑豊電気鉄道(以下ちくてつ)様の応援、魅力に触れることでした。

8月22日に、ちくてつの永尾社長との第1

回打ち合わせから準備をスタートし、様々な場面で皆様からの応援やアドバイスをいただきながら締め切りまでに36名の参加表明をいただきました。

そして開催当日、すがすがしい秋風が心地よい18:30に貸切電車が駅ホームに入線。荷物を積み込み、参加者全員で出発前に記念撮影。そして19:03に終点筑豊直方駅に向けて出発進行！車内では黒崎咲かそっちゃん伊藤代表によるオリジナル「黒崎商店街弁当」が用意され、さながら「大人の遠足」のような賑やかな雰囲気になりました。電車は直方から橋本に折り返し休憩。21:02に無事到着、解散となりました。

本企画に際し、ちくてつの皆様には安全運行ありがとうございました。また、お忙しい中、村上市議会議長、柴田八幡西区長にもご参加いただきありがとうございました。次回は景色が見える長間の開催で！



☆ホームページのご案内☆

当会と黒崎のまちの最新情報は、こちらをぜひご覧ください！

<https://k-fk.jimdo.com/>



おかげさまで黒崎播磨株式会社100周年!

黒崎播磨株式会社 山田 克己

黒崎播磨株式会社(以下「当社」)は1919年、安川・松本財閥の実業家であった松本健二郎と、官営八幡製鐵所の耐火物技術者であった高良淳という二人の創業者が出会い、耐火物専業メーカーとして操業を初めました。以来この八幡の地から日本の産業を支え続け、日本を代表し世界でもトップクラスの耐火物メーカーとして成長してきました。

当社は2019年6月1日に創業100周年を迎えるにあたり、地域社会貢献の一環として、北九州市との協働により、本社近辺に位置する市道東浜町1号線(JR及び国道3号黒崎バイパス下)のリニューアル整備を実施しました。

本リニューアルは、レンガ壁、花壇並びにギャラリーパネル等の整備を行うもので、八幡西区の良好な景観形成に寄与することを目的としております。

今回、当社が整備した構造物等については、北九州市へ管理・引継ぎを行います。また、花壇は、道路サポーター制度を活用し維持管理を行っていくことで、北九州市が推進する「きれいで気持ちの良いまちづくり」を進めていきます。

加えて、100周年記念事業の一環として、従業員作業服・ヘルメットの刷新を行いました。ゼロエミッションおよび循環型社会の実現に寄与することを目指し、従前の作業服・ヘルメットはすべてリサイクルを行っています。

100年にわたりこの八幡の地で操業ができたのも、地域の皆様との多大なるご支援・ご協力の賜物であり、深く感謝いたします。今後もこの八幡の地から日本の、そして世界の産業を支えてまいります。



「黒崎駅の現状と取り組みについて」

黒崎駅長 糸井 孝次

北九州市、安川電機、JR九州の3者で締結した「黒崎副都心地区活性化連携協定」に基づき、2014年9月より進めてきた駅舎建て替え工事が無事完了し、2019年4月25日、「えきマチ1丁目」の開業とともに、黒崎駅がグランドオープンしました。

駅商業施設を「えきマチ1丁目黒崎」として、新たに8店舗が開業し、旧駅舎時代からご愛顧いただいた東筑軒、ファミリーマート、ミニヨンに加え、新たにスターバックスコーヒー、ドラッグイレブンが加わっております。

さらには保育園、健康寿命推進施設にもご入居いただき、通勤・通学だけでなく、子どもから高齢の方まで幅広くご利用いただける施設となりました。黒崎駅が北九州地区黒崎副都心として、にぎわいや活気を市中に届ける玄関口として相応しい駅になりましたので、今後も地域と一体になって盛り上げていきたいと考えています。

8月には、多方面に協力をいただき、黒崎駅前ペDESTリアンデッキにて、「真夏の雪降る盆踊り」を実施しました。約7年ぶりに黒崎地区での盆踊りの開催となり、多くのお客さまと一緒に、駅からのにぎわいづくりを行うことが出来ました。

今後も「お客さまがもう一度行きたいと思われる駅」を目指し、地域とともに発展する黒崎駅を運営し、多くのにぎわいを創出していきたいと思っています。



安川電機「ロボット村」の取組

安川電機みらい館 館長 岡林 千夫

2015年6月1日のロボット村オープン以来、安川電機みらい館のご来館者累計が、2019年10月に15万人を超えました。

本年度も昨年度同様、地域の皆様とのコラボレーションに力を入れ、まちゼミ、全力!黒崎、黒崎よさこい祭り、夏休み親子フェスティバル、黒崎96の日、JR九州ウォーキングイベントなどに参加しました。

今後とも、地域の皆様との密接な関係を築きながら、より多くの方々にご来館頂くことで、微力ではございますが黒崎の活性化のお役に立てればと思っております。



安川電機みらい館新展示「AIケイ」

黒崎よさこい祭り2019

黒崎よさこい祭り 実行委員長 入江 真一

5月18日、19日の日程で11回目となる「黒崎よさこい祭り2019」を開催しました。今回は土日合わせて103団体約1,470名を超える参加者が九州中国地域を中心に、さらに名古屋からも集まり、それぞれ特徴のある演舞を繰り広げました。

18日は松並木公園のみの前夜祭、19日は松並木公園をメイン会場とし、安川電機本社前広場など計6会場で行いました。

当日は強烈な風が吹き、開催も危ぶまれましたが一部プログラムを変更し、何とか開催できました。

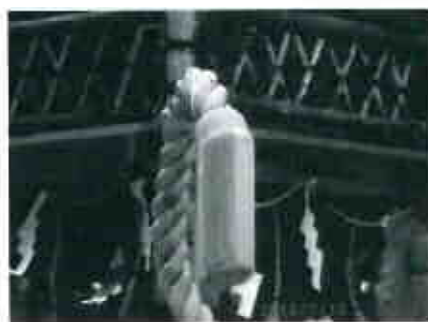
最後に行政、警察や多くの関係者の皆様のお力添えで盛大かつ無事に終了しましたことを実行委員会一同感謝申し上げますとともに、12回目以降も多くの力添えを賜りますようお願い申し上げます。



おぎおんさん

黒崎祇園山笠保存会 会長 岡田 良夫

令和になって平成の世を振り返る声が高いが、団塊世代の私には、むしろ、二十世紀がもう《歴史》になってしまったという印象が強い。「おぎおんやまがさ」を終生の恋人のように、愛し、慕い、半生を捧げともに黒崎の栄枯盛衰を歩み続けて、はや六十余年。「飲んで〜、飲んで〜、飲まれて、飲んで〜」ひと仕事終わった後の御酒(ビール)は堪らなくおいしい。神事には、直会がつきものだ。それだけを楽しみにきつても、諸先輩の指示に従い、目の前のまつりに胸を高鳴らせ、あの人に男気を見てもらいたくて、日々精進していたころ。まさに「あおはる」。いまもあの頃と変わらず、青春している私。二次会は、「コンパ」「あざみ」「雅叙園」サァ、走るぞー。わっしょい、わっしょい。



全国ほたるサミットが黒崎で開催!

ラブリーバー楡川ネットワーク 会長 江島 勉

第14回 養川ホテル祭りが、昨年5月開催され、約8,000人の参加者で賑わいました。今回は、この祭り日程に合わせて、北九州市主催「2019全国ほたるサミット」が黒崎ひびしんホールで開催され、この催しに参加した和歌山県の紀の川市をはじめ岡山県や愛知県などの首長などが、楡川ホテル祭りへの特別ゲストとして開会式に参列、互いに「日本一のホテルの里づくり」を誓い合いました。昨年のホテルの飛翔状況は、春先の冷雨などの異常気象もあり、例年の半分位の数にとどまりました。しかしその中でも黒崎ひびしんホールと八幡西図書館の間付近で4-5匹のホテルの飛翔が確認され、まさに私たちが目標としている「都会のホテル復活」が現実のものとなってきました。今、世界中の国々が取り組んでいる「持続可能な社会を目指すSDGs」の活動に、自然環境保護の観点から参加していきたいと思っています。そして、ホテルの光を通じて、子どもたちが、ふるさとへの愛着と誇りを育めるように、美しく再生した楡川を守ってまいります。今後ともよろしくお願いたします。



ヤングサンタチャリティー吹奏楽コンサート

(一社)北九州青年経営者会議 会長 藤田 拓之

10月14日(祝)黒崎ひびしんホールにて、北青会主催ヤングサンタチャリティー吹奏楽ポップスコンサートを開催しました。「ヤングサンタ」とは当会が過去20年間継続して行ってきた事業で、事前にお預かりしたご家庭のクリスマスプレゼントをサンタクロースが直接お子様にお渡しする活動とチャリティーを使ってプレゼントを購入し、お家でクリスマスをおごせない入院中の子どもたちやご家庭の事情で家族でクリスマスをおごすことのできない児童福祉施設の子どもたちにプレゼントをお届けしてまいりました。今回もコンサートを開催し地域の皆様にご協力いただきお預かりしたチャリティーをたくさんのおプレゼントに変え、12月22日(日)北九州のサンタクロースが多くの子どもたちに夢とプレゼントをお届けしました。



黒崎こども商店街2019

黒崎こども商店街 実行委員長 田中 大士

毎年11月の第2土曜日に開催される黒崎こども商店街。黒崎商店街をはじめ、黒崎の街一帯で行い、小学生を対象とした職業体験イベントです。小学生が応募し、こどもハローワークで職業を選択し、お仕事を体験、そのあと税務署に行き、銀行で通貨をもらい、その通貨を街で使うという大人と同じサイクルになっています。こども商店街のコンセプトは主に5つあります。1つ目は、子ども達に色々な職業があることを気づいてもらい、仕事の楽しさや大変さを学んでもらいたい。2つ目は、黒崎の街に来てもらい、好きになってもらいたい。3つ目は参加している人が楽しんでもらいたい。4つ目はイベントを通じお店や企業を身近に感じ好きになってもらいたい。5つ目はこども達の学生などの育成。などを掲げています。黒崎こども商店街は皆様のご協力のおかげで国内最大の職業イベントになりましたが、コアなボランティアメンバーの不足、出展店舗の不足など課題があります。協力していただける方を募集しております。また、今年10年目の区切りの年です。さらに楽しんでもらえるイベントを目指します。



黒崎商店街その他のイベント (番外編)

広報委員会 副委員長 伊藤 由紀子

- 「黒崎まちゼミ」2月1日～28日の1か月間
商店街にお店をかまえる店主やスタッフが講師となり、プロならではの専門的な知識や技術、情報、コツなどを無料で受講者(お客様)へお伝えする少人数制の街のゼミナール。今年も2月1日から一か月間約50講座で開催予定！(2月7日は九州フォーラムも黒崎で開催！)
- 「全力！黒崎」3月24日
全力で走る！歩く！踊る！をテーマに2回目となる「全力！黒崎」が開催されました。DA PUMPのケンゾーさんをゲストにお招きしたこともあり、たくさんの方々が参加者やファンで賑わいました。フィナーレでは商店街の駅側の端から、地域の住民、働くひとで埋め尽くし、オリジナルソングで踊る光景は圧巻です。今年も3月22日に開催予定！
- 「城山さくらまつり」3月31日
素晴らしい桜の咲き誇る黒崎のシンボルマウンテン城山！その美しい桜をたくさんの方々の知ってほしい！見てほしい！と始めたさくらまつりも今年で5回目です。ステージあり、おいしいお酒や食べ物あり、家族連れも多く、にぎやかで、たのしく花見が出来る人気のイベントです。
- 「黒崎とこここバル」6月25,26,27日
商店街のお店を自由にお得に巡ってお店の特徴を知ってもらおうバル型イベント。お昼はお店でお買い物、テイクアウトやランチを、夜は美味しいお酒や食事を周回中なら何度も楽しめます。1チケット5枚つづりで3000円。家族やグループで活用もできちゃう。行ってみたかっ

- たお店に気軽に入れるチャンスです！毎年6月末に開催中。今年で第5回目を迎えます！
- 「夏休み親子WSF IN 夏川電機みらい館」8月1,2,3日
夏休み中の子どもたちに、工作や自由研究を学ぶ一環として、ものづくりの楽しさ、ものづくりの街北九州を知ってもらうイベントも昨年で第9回目を迎えました。みらい館の自由開放日とし、年々高質なワークショップも増え、参加者はおよそ3日で3000名がご来場されました。今年は節日の第10回目となるので、さらに内容を充実していきたいと思っています！
- 「がんばる黒崎はしご酒大会」10月23日
今年で12回目となったはしご酒大会。3000円のチケットを受付で渡すと、4店の店名が書かれたカードをもらい、4店舗をはしごし、各店舗おすすめの1ドリンク&1品を愉しむイベント！運命のお店に出会えるチャンスがありますよ！(※おおよそ1000名を超えるお客様と100店舗を超える飲食店が参加する九州最大級のはしご酒イベントです。)
- 「チーズフェス ハロウィン収穫祭」10月31日
駅前前のベストリアンデッキを利用し初開催。商店街で人気の飲食店約8店が参加。仮装やメイクを愉しみながら、普段と違う雰囲気でお店街を歩いてほしいという想いで始めましたが、当日は駅前ということもあり、学生やサラリーマンで埋め尽くされ、あっという間に全店SOLD OUTでした！！
- 駅前デッキと商店街を活用した「国家戦略特区事業」
駅前では、Team story主催で定期的にあんぱんパーク・盆踊り・コロコロキッチンや屋台を開催中。回を重ねるごとに、駅やコムシティ・井筒屋を利用する多くの学生・ビジネスマン・住民の方々に認知され、にぎわいを確実にもたらしている継続的なイベント！商店街では、月に一度第三水曜日にTUGU TOWN 黒崎マルシェを開催。特別養護老人ホーム「銀杏庵穴生クラブ」がオレンジカフェも開催。行き交うまちの高齢者の方々の憩いと健康チェックの場として定着している！



会員企業トピックス 黒崎を愛し続けて50年

株式会社 河村酒販 代表取締役 井上 真喜子

1970年3月17日、創立者河村勲、敏子は、黒崎に小さな酒屋を開業し、時代の波と共に、北九州一の酒販会社へと発展させました。黒崎を愛し続けて50年、この日を迎えることができますことを、皆様に心から感謝申し上げます。弊社の経営理念は「宴づくり 町づくり 酒のご縁で社会に貢献する」です。町づくりの縁の下となれますよう努力精進する覚悟です。また会社の二階をコミュニティルームとして無料でお貸ししていますのでお気軽にご利用下さい。これからも末永くご厚情賜りますよう、よろしくお願い致します。



八幡西暴力追放総決起大会

福岡県八幡西警察署長 宮崎 範男

11月14日(木)、ひびしんホールで、「八幡西暴力追放総決起大会」が開催されました。大会では、八幡西警察署長と八幡西区内の官公庁、企業、住民、団体等の代表者63人との間で、「暴力団等のいない活力と魅力溢れる八幡西を目指す」ことを目的とした協定が締結されました。この様な目的及び規模での協定は全国初であり、街づくりに向けた先進的な取組が今まさにスタートしました。なお、同協定は、平素から地域のために献身的に努めておられる皆様方が故に実現したものと敬意を表します。八幡西警察署としましても、今後一層、八幡西区の安全・安心と発展のため組織の総力を挙げて取り組んで参りますので引き続き、宜しくお願い致します。



福岡県警察繁華街創生プロジェクトの取組について

繁華街創生プロジェクト 管理官 樋口 稔

当プロジェクトは発足して5年目を迎えており、その間「黒崎繁華街魅力づくり推進協議会」の事務局として、会員団体等と連携し、健全で魅力ある黒崎繁華街の実現に努めております。また、昨年11月の八幡西暴力追放総決起大会では、八幡西警察署と参加団体とで暴力団等の排除に関する協定が締結されており、当プロジェクトとしても各種活動を通じて、暴力団等反社会的勢力を寄せ付けない繁華街づくりに取り組んでまいりますので、引き続き、皆さまの御理解、御協力をお願い申し上げます。



協議会の様子

令和の御世替り 一世界に誇る日本の皇室一

岡田神社宮司 波多野 直之

今年の5月1日に新しい天皇陛下が御即位されました。第126代日の天皇陛下です。世界には約200の国が現存していますが、世界最古の国家が、日本であることは、あまり知られていません。日本書紀によると、初代天皇である神武天皇が御即位されて、今年には2679年目になります。

古い国は中国とかエジプトという答えが返ってきますが、中国は2000年間で王朝は23回替わっていますし、エジプトは3000年間で32回替わっています。

因みに、世界で二番目に古い国家は936年に建国されたデンマークです。マルグレーテ女王陛下はデンマーク王国55代目の君主です。三番目に古い国家はイギリスで1066年に建国されました。エリザベス女王陛下は大英帝国42代目の君主です。デンマークやイギリスの建国は日本の平安時代の出来事で、日本の建国がいかに古いかが解ります。

日本の悠久の歴史は「古事記」「日本書紀」といった書物からその起源を窺い知ることができます。日本の国は、天照大御神の御子孫が代々、天皇として御位をつがれ、日本の国を治められてきました。以来2000年以上の長きに亘り、国民と共に歩みを重ねてきました。

これからも、皇室をいただき日本の国がさらに繁栄し、国民がますます幸せになれるように祈念します。



撮影:波多野宮司(赤坂御所で展示中のパネルより)

副都心黒崎開発推進会議

令和元年度 定例総会開催

さる、7月23日(火)「ホテルクラウンパレス北九州」において令和元年度の定例総会が開催されました。令和2年度定例総会(令和2年7月28日(火)開催)も、ぜひご参加ください。(記念講演)北九州市立大学教授 城戸宏史様に「黒崎ブランディング戦略」と題して、平成30年度地域づくりマネージャー養成塾にて、北九州市立大学の生徒の皆さんの調査・協力のもと、黒崎のブランド・コンセプトについて検討した内容の総括としてご講演いただきました。五つのブランド・コンセプトにまとめられ、現役大学生の視点や感じ方に気付かされる点もありました。

- (定例総会) 定例総会に付議された議案は
- 議案第1号 平成30年度 事業報告
 - 議案第2号 平成30年度 収入・支出決算並びに監査報告
 - 議案第3号 令和元年度 事業計画(案)
 - 議案第4号 令和元年度 収支予算(案)

以上4議案。いずれも満場一致で可決されました。また、報告事項として、(1)事務局移転費用協賛金収支報告、(2)地域づくりマネージャー養成塾への参加のお願い、(3)「黒崎96の日」より開催にあたっての報告と協力をお願いがありました。

〈懇親会〉定例総会に引き続き、懇親会を開催いたしました。北育会のチャリティーコンサートをはじめ街で活動される団体の皆さま方のPRタイムや、締めくくりにタウンシップススクール黒崎まちの合唱部の皆さんによる、きれいな笛の音と共に奏でられた歌声で盛り上がり、会員同士の交流が深まった懇親会になりました。

〈御礼〉本総会に協賛広告をいただいた方々には、この紙面をお借りしてお礼申し上げます。

